

走行予定日：令和3年5月10日(月)  
 ※順番は走行市町順、次いで五十音順

走行市町	氏名	年齢 (令和3年 5月10日 現在)	住所	令和元年度聖火ランナー応募時の 自己PR・応募動機・推薦理由(抜粋、要約) ※現在の情報とは異なる場合があります
基山町	もり 森 やすえ 靖恵	61	基山町	地域の子育て環境を良くするために、育児サークル「どんぐりクラブ」立ちあげ。基山町ゴルフ代表で県大会に9年連続出場するなど、スポーツを通じて地域との関りを深めている。
	もりた 森田 ひさよ 久代	61	鳥栖市	走り高跳びでオリンピックに出場した経験がある。総合型スポーツレクリエーションクラブ「フィット鳥栖」サブクラブマネージャーを10年務めている。大人の健康づくり、子ども達にはスポーツの楽しさを知ってもらえる教室とサークルのお手伝いなど生涯スポーツの普及に尽力。
鳥栖市	いまむら 今村 いちろう 一郎	53	鳥栖市	医療法人社団 如水会 今村病院 理事長。「SAGAスポーツピラミッド(SSP)構想」のSSPアスリートジョブサブ事業により、今年度から2名のアスリートを雇用し、当事業を活用した初の事業者。SSP基金ゴールドパートナーになるなど、SSP構想の推進に積極的に取り組む。
	PRに資する聖火ランナー とよだ 豊田 ようへい 陽平	36	—	プロサッカー選手。サガン鳥栖のJ1昇格にも貢献し、現在もトップ選手として活躍。小学校訪問や地域のサッカー教室など、地域貢献活動にも率先して参加。
みやき町	きのした 木下 たけふみ 武文	79	みやき町	天吹酒造の10代目、みやき町観光協会の会長。日本酒造りを継承し、現在アメリカを初め10カ国以上の国へ輸出している。
	てらだ 寺田 やすお 恭夫	76	みやき町	住民の交流・見守り強化・介護予防に「ふれあいサロン」を立ち上げ。その後もサロンを支援するボランティアグループ(ハッスル隊、ふまねっとサポーター、そば打ちおやじの会)を立ち上げ、尽力。佐賀みやきひよつとこ会を結成し、バルーン大会やさが桜マラソンで活動。「こどもひよつとこ夏祭り」を主催。
吉野ヶ里町	きたむら 北村 よしひろ 好広	44	吉野ヶ里町	醤油、みその製造販売業を経営。商工会青年部長として町の活性化に取り組んだ。部長退任後の現在も、地元で子供達と味噌づくりなど食育と地域活性化に取り組む。
	なかむら 中村 ゆみこ 由美子	55	佐賀市	平成16年から、双子・三つ子のサークル「グリーンピース」で活動。令和元年に「さが多胎ネット」を発足。多胎家族への支援を行う。
神崎市	みやち 宮地 まゆ 真由	20	神崎市	佐賀女子短大生。学生ボランティア部sun-kissedに所属し、災害ボランティアや棚田保全ボランティアなど活動。佐賀県地域防災リーダー養成講座を受講後、防災士の試験にチャレンジし、地域貢献のための学びを積極的に行う。
	むらおか 村岡 ひろし 洋	68	小城市	佐賀県手をつなぐ育成会 会長。障害者の自立及び社会参加推進、障害者に対する理解の普及に取り組む。
上峰町	はらまき 原槇 かずひこ 和彦	76	上峰町	前回の東京オリンピック聖火ランナー。上峰町区長会会長として地域の安全安心や課題解決に向けて尽力。
	やまもと 山本 ちえこ 千恵子	57	小城市	筋萎縮性側索硬化症(ALS)を患いながらも、佐賀県難病相談支援センターの相談支援員として、就労支援や難病普及啓発に取り組む。

走行予定日：令和3年5月10日（月）  
 ※順番は走行市町順、次いで五十音順

走行市町	氏名	年齢 (令和3年 5月10日 現在)	住所	令和元年度聖火ランナー応募時の 自己PR・応募動機・推薦理由(抜粋、要約) ※現在の情報とは異なる場合があります
小城市	かわだ たかこ 川田 孝子	51	佐賀市	学校給食・食育に携わる栄養教諭。「オリ・パラ給食」を発案し、世界の料理を学校給食で提供。食育だより、試食会、講演会、ラジオ、テレビ、全国大会での発表等、「食の大切さ」「健康」を伝え、食育の推進に尽力。
	ひらまつ かつき 平松 克輝	73	小城市	医療法人ひらまつ病院・社会福祉法人清水福祉会理事長として36年にわたり地域医療の発展・地域福祉の充実に尽力。アスリートの雇用に積極的であり、特に陸上競技においては、本県で初めてニューイヤーズ駅伝に出場。現在、小城市体育協会会長も務めており、県内一周駅伝小城市チームの7連覇達成にも貢献。SSP基金オフィシャルパートナーとして地域スポーツの発展を支援。
多久市	なかむら たいが 中村 太河	15	多久市	多久市立東原岸舎西溪校 中学生。小学校3年生から始めたスポーツクライミングを熱心に取り組む。
	ニューエン スティーブン	26	佐賀市	ALT。国際交流コミュニティを広げる。子供たちに英語の絵本の読み聞かせのボランティアを行う。日英会話交流クラブを立ちあげる。
大町町	つぎき よいちろう 鶴崎 與市郎	73	佐賀市	前回の東京オリンピック聖火ランナー。佐賀県聴覚障害者協会 体育部長として協会員のスポーツ参加への機運高める。手話サークルにも積極的に参加し、ろうあ者ならではの手話の普及を行う。社会貢献活動としてJR佐賀駅駐輪場整理員を務める。
	もり いさむ 森 勇	75	大町町	前回の東京オリンピック聖火ランナー。地域の農業の持続的な発展を願い、農家仲間と農業法人化を成し遂げ、令和元年度の8月まで代表を務めた。
江北町	えだよし まきこ 枝吉 真喜子	72	佐賀市	佐賀商工会議所女性会会長として地域の活性化に取り組む。出会い応援など積極的な活動を展開。
	かまつか しんや 柿塚 晋也	41	江北町	佐賀県トライアスロン協会副会長として、2023年国民スポーツ大会に向け、選手強化に尽力。
佐賀市	いのうえ はるか 井上 華花	22	佐賀市	県教員を目指す佐賀大学生。外国にルーツを持つ子どもを支援するサークルや、ひとり親家庭の子どもの学習支援ボランティアで活動。
	こじま かずのり 小島 一悟	13	佐賀市	佐賀大学教育学部附属小学生、児童会長(生徒会長)。空手(組手)で県大会2年連続優勝。
	しまづ まゆみ 嶋津 真由美	63	佐賀市	佐賀市観光ボランティアガイドを16年間務めている。佐賀県防災士会、佐賀県栄養士会、校区防災士会などで数々の活動を行う。2016年から2年間JICAシニア海外ボランティアではパラオ共和国において栄養士として現地の学校給食の向上に貢献。
	PRに資する聖火ランナー よしおか とくじん 吉岡 徳仁	54	—	佐賀市出身の世界的なデザイナー、アーティスト。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の「聖火リレートーチ」のデザインを担当。